

2021年度

**NPO法人 ネットワーク・フェニックス
活動計画書**



<http://npo-phoenix.jp>

I 設立趣旨・目的

この法人は、ふるさと長岡が魅力ある街となり、子どもたちが誇りをもって育ってくれるような様々な活動を行い、全国へ向け発信することによって、新潟県全体の経済を活気付け、新しい長岡のブランドの創設を図り、地域経済の発展に率先して貢献する事を目的とする。

訪れる人にとって魅力的な街であること

それは、子どもたちが誇りをもって暮せる街

そして、創り出せるのは唯一我々の想いから・・・

II 活動概要

1) 「長岡花火発信事業」 ～長岡の誇りを次世代に～

(啓蒙関係委員会)

未来を担う次の世代に、長岡市民の誇り、宝である「平和を祈る長岡花火」の想いや物語をしっかりと伝えていくとともに、長岡花火ブランドの価値をさらに高めていくための戦略が求められます。「長岡の誇りを次世代に」を基本理念とし、「長岡花火の裾野の拡大(ひとづくり)」と「長岡花火ブランドの磨き上げ」という2つの柱を掲げ活動を行います。

① 長岡花火普及啓発事業

- ・ 戦災や自然災害からの復興を遂げた長岡市。その復興魂から生まれた長岡まつり大花火大会やフェニックス花火を、築き上げてきた先人たちの心を、次代を担う子どもたちに伝え、ここ「故郷長岡」に誇りを感じてもらえるよう小中学生を中心に学校へ出向いた出張授業やアオーレ長岡、道の駅ながおか花火館などで出張授業を行います。また、ネットワーク・フェニックスの活動が未来に向けて地域に根付いた安定的な活動ができるように若手の育成にも注力いたします。

② 長岡花火発信事業

- ・ 昨年度に続き本年度も花火大会が中止されたことで長岡市民は基より長岡花火ファンの心の中から「長岡花火」が遠のくことの無いようにインターネットを中心に、アオーレ長岡シアター、道の駅ながおか花火館などで新たな花火情報の発信を図ります。
- ・ 長岡で開催されるコンベンションや視察、市内企業、団体向けに場所を選ばず講演できるコンテンツや組織体制の構築を図ります。
- ・ アオーレ長岡シアターを活用し、フェニックス花火コンテンツをはじめ長岡花火のルーツ、ハワイ・ホノルルとの友好の花火など長岡花火ブランド発信ツールの構築や講演会を通年で実施します。

2) 「花火打上支援事業」 ～大イベントを全国へ発信して地域を活性化する～

(ボランティア関係委員会)

2004年10月23日の新潟県中越大地震からの一日も早い復興を祈願し、またご支援いただいた多くの方々への感謝のシンボルとして、「復興祈願花火フェニックス」と題し、世界一として誇れるような壮大な規模の花火を打ち上げ実現することができました。

昨年に続き今年は新型コロナウイルスにより花火大会が中止されますが、2022年に打ち上げるフェニックス花火を見据えた活動を推し進めていきたいと思えます。

●一般財団法人長岡花火財団フェニックスボランティア部会 業務支援●

① フェニックス花火協賛金募金事業

- ・2022年8月2日3日開催予定の長岡まつり大花火大会実施予定のフェニックス花火打上協賛金を募ります。新型コロナウイルスにて花火大会が中止となり2022年の花火協賛金として明確なメッセージと共に募金箱の設置、振込による募金からスタートし参加する人、協賛金を託す人、フェニックス花火はそのすべての人たちの花火であり、みんなで打上げていると意識を忘れずに持っていただき続ける活動を実施します。
- ・ホームページ等で活動全体の広報、協賛金金額の逐次発表、(振込で希望者に)協賛者名の記載を行います。
- ・協賛者に対しての報告、御礼など実施しフェニックス花火と協賛者の結びつきを強化し安定した協賛金の確保と長岡花火ファンの確立を目指します。
- ・クラウドファンディングなど、新たな協賛金募集方法を確立し安定的且つ継続的な花火打上げが実現できる方法を模索計画していきます。

② 長岡まつり大花火大会フェニックス観覧席の設営・運営業務

- ・信濃川大手大橋下流右岸運動公園で例年実施しておりますフェニックス観覧席で、新型コロナウイルス収束後、感染症対策をしっかりと行い問題なく開催できるよう情報収集と対策の立案を行います。

③ 長岡花火関連商品(公式グッズ)販売及び管理

- ・長岡花火財団発行の書籍、DVDなどの管理をします。

3) プロジェクト事業 ～「ひとづくり・まちづくり」事業～

(新規事業系委員会、広報・渉外関係委員会)

長岡市には長岡花火をはじめ、歴史、文化、自然、景観、特産物など多くの地域資源（長岡ブランド）があります。これらの地域資源を発掘し、磨き上げ、発展させることにより地域の魅力や価値の向上を図り、更なる地域の活性化を目指します。「長岡ブランド」を県内外に発信するため、各地域の方々とネットワークの充実を図り各地域の魅力や多様な地域資源を一体（ネットワーク）となって広く発信（シティプロモーション）します。これらの活動を通じ、ふるさとへの愛着と誇りをもち、地域の未来を担う柔軟でたくましい人材や郷土愛と志を抱き、国際社会に羽ばたく人材を育てるとともにまちづくりや地域活動のリーダーを育成します。地域社会が抱える課題は、複雑・多様化し、従来の行政サービスだけでは十分に対応できないケースが増加しています。地域の課題を解決するには、市民自らが組織したNPOや地域活動団体などの活動が重要となってきています。市民活動と行政が対等な立場でそれぞれの役割を明確にしながら、協力・連携する「市民協働」による「まちづくり」を積極的に行います。

また、2020年9月オープンの「道の駅 ながおか花火館」との連携で、「長岡花火」のPRをはじめ、地域経済の活性化を目的にフェニックス花火を含む「長岡ブランド」関連の商品やイベントを企画・開発・販売・運営し、収益をフェニックス花火打ち上げ費用として一般財団法人長岡花火財団へ協賛するとともに自主事業に充当します。

① 長岡ブランド発信事業

- ・「長岡花火」をはじめとする「地域の宝」＝「長岡ブランド」の価値をさらに高めていくための裾野の拡大（ひとづくり）と磨き上げ
- ・慰霊・復興・平和を祈る花火の打ち上げ協力

② 市民協働による活力あるまちづくり事業

- ・協働を担う人材の育成
- ・市民力・地域力の活用と市民活動の促進
- ・地域間交流とネットワーク化の推進
- ・フェニックスカップジュニアバレーボール大会の実施
- ・地域資源を活用した情報発信と地域活性化の推進
 - 1) ながおか食プロジェクト
飲食店支援プログラム（お弁当プロジェクト等）の実施
キッチンカー運用事業の実施
 - 2) おもてなし事業
長岡米百俵フェス、道の駅ながおか花火館
※花火大会のフェニックス席おもてなし事業は花火大会中止の為本年度は中止

③ 地域独自の商品開発・販売事業により経済の活性化を推進する活動

- ・フェニックス画像・映像使用商品の開発・販売（カレンダー・DVD販売中）
- ・長岡花火関連商品（公式グッズ）の販売

4) 中心市街地活性化事業 ～まちなか賑わい創出事業～

(広報・渉外関係委員会)

●まちなか情報発信事業●

- ・大型LEDビジョン「まちかどフェニックスビジョン」を活用した情報発信
- ・長岡まつりやホコ天、中心市街地などイベントでの活用
- ・アオーレ長岡の大型ビジョンとの連携・活用についての検討
- ・地域企業のPRや商品・イベント情報の発信ツールとしての活用ルートの構築

5) 委託運営・ソリューションサービス事業

(広報・渉外関係委員会)

市民、行政、企業が求めるサービス・事業が多様化する中、様々な業務上の問題点の解決や要求の実現を行うための事業の受託やより効果的なシステム開発・構築を行います。多様化するニーズによる「新しい公共」のサービスを提供し、市民協働の礎となる活動を行います。

- ① 長岡花火関連事業
 - ・長岡花火普及啓発業務
 - ・フェニックス花火協賛金募集・管理業務
 - ・長岡花火関連商品販売委託業務
- ② 中心市街地活性化関連事業
 - ・まちなか情報発信事業
 - ・市政情報上映管理業務